

育てる楽しさ、味わう喜び

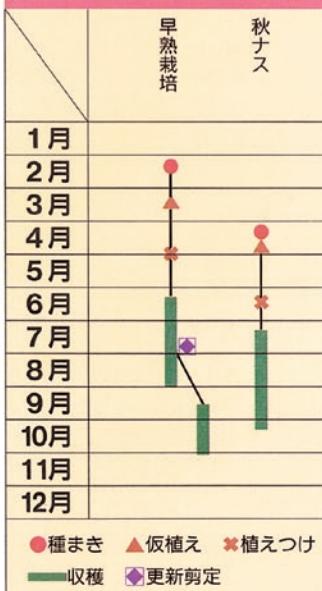
兵庫みらいの

野菜づくり

Basic Vegetables



果菜類・ナス科 ナス



営農指導員からの失敗しないコツ

- ・ナス科作物の後には3~4年連作しないでください。
- ・根が深く伸びるので、元肥は畝の中心に深めに多めにやってください。
- ・光が不足すると花の質、果実の太り、色が悪くなるので、摘葉や整枝によって十分光が当たるようにしてください。

VARIETY

千両2号、庄屋大長などの品質のよい一代雑種がありますが、そのほかにも、九州地方の長ナス、京都の賀茂ナス、大阪の水ナス、東北地方の丸ナス、小ナスなどの昔からあった在来種も

見直されてきています。

また、米ナスのように海外で生まれた品種でも、肉質がよいので、市場に出回っているものもあります。

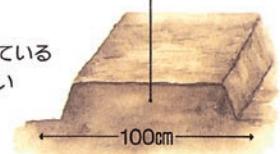
苗選び



種まきから本葉2枚にするのに80日くらいかかるので、購入するのが得策。接ぎ木苗が手に入ればベスト

畑の準備

荒起こし
セルカ150g/m²
堆肥3kg/m²
元肥
果菜ゴールデン有機
150~180g/m²
(N·P·K=10·6·10)
マルチサポート1号
40g/m²

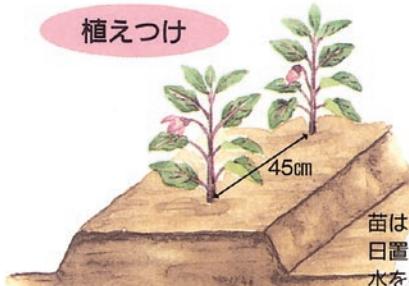


根が深く張るので、深く耕す



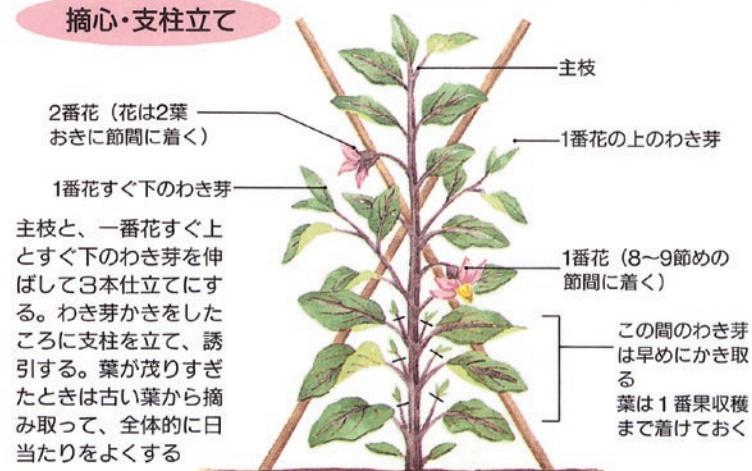
ポリポットから根鉢を崩さないように抜き取る

植えつけ



苗は、購入後日当たりのよいところに2~3日置いてから植えつける。前日じゅうぶんに水を与えて、根鉢が崩れるのを防ぐ。植え穴は大きめに掘るが、浅めに植えつける

摘心・支柱立て



◆PROFILE

原産地はインドで、日本へは7~8世紀に中国を経由、または東南アジアから導入されたといわれています。日本各地で定着し、多くの地方種を生みました。丸形から長形、色も白、

緑、紫赤、紫黒と変化に富んでいます。

近年では中長型の一代雑種が主流になっていますが、地方種も一部で栽培されています。

生育の適温は25~28°Cで、日

当たりのよい、有機質に富んだ場所を好みます。

世界的に、アジアを中心に栽培されていて、日本の栽培面積は第3位、単位面積当たりの収穫量は第1位です。

追肥



1番果の収穫時から始め、1回に野菜専用化成(15・15・10)20g/m²を施す。2~3週間おきに畝の肩に追肥する。畝が乾燥すると生育や果実の成長が悪くなるので、たっぷりと水やりし、敷きわらを敷く

収穫

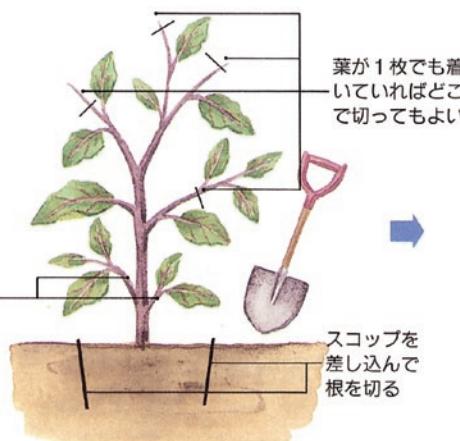


早めに収穫して株の負担を軽くする

更新剪定

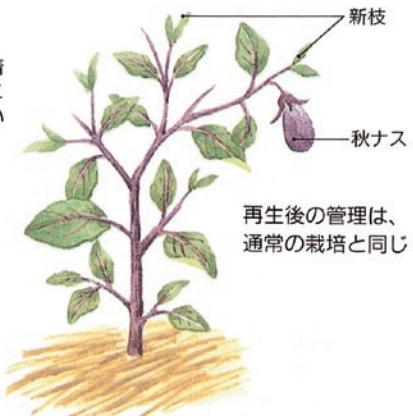
真夏に枝と根の一部を切り返すと、新しい枝が出て、秋ナスが収穫できる。根を切った後は、500倍の液肥を与えて、敷きわらをする

短い枝は残しておく



葉が1枚でも着いていればどこで切ってもよい

スコップを差し込んで根を切る



再生後の管理は、通常の栽培と同じ

栽培ミニ知識



一般的に植物は栄養状態が悪くなると、葉の色が薄くなったり葉が小型になりますので、肥料が不足しているのかどうか判断できますが、ナスは花で栄養状態を知ることができます。
栄養状態のよい株の花は、大型で花弁の色つやがよく、よく観察すると雌しべが薬筒の外へ突き出ています（長花柱花・イラスト上）。

栄養状態が悪いと小型で花弁の色つやが悪く、雌しべが薬筒の中に包まれています（短花柱花・イラスト下）。

また、栄養状態が悪いと、枝の先のほうで花が咲くようになります。
このような状態になる前に、肥料を与えることがたいせつなのです。

花でわかる栄養診断

一般的に植物は栄養状態が悪くなると、葉の色が薄くなったり葉が小型になりますので、肥料が不足しているのかどうか判断できますが、ナスは花で栄養状態を知ることができます。

栄養状態のよい株の花は、大型で花弁の色つやがよく、よく観察すると雌しべが薬筒の外へ突き出ています（長花柱花・イラスト上）。



農業に関するご相談・お問い合わせは、
JA兵庫みらい 営農窓口まで。

TEL.0790-47-1282

8:45～17:15(土・日・祝日を除く)

加西営農生活センター TEL.0790-47-1286

グリーンかさい TEL.0790-47-1286

三木営農生活センター TEL.0794-87-3012

グリーンみき TEL.0794-83-5638

小野営農生活センター TEL.0794-63-6905

グリーンおの TEL.0794-63-7775